

市議会 だより

平成23年3月定例会報告

鶴ヶ島市議会

議会は、東北地方太平洋沖地震に対する市の対応について、3月14日の本会議冒頭で、市長に緊急質問を行いました。その要旨をお知らせします。

Q 災害対策本部の体制と活動は。

A 揺れがおさまった15時45分、災害対策本部を設置した。メンバーは、市長、副市長、教育長、部長級の職員である。

3月14日までに6回の本部会議を開いた。被害状況の把握、避難所での避難者や帰宅困難者への対応等に対し、指示を行った。

Q 市内の被害状況は。

A 一班2から3人で27班、徒歩で市内全域の被害状況を確認した。その結果、3月14日現在で89件の物的被害を確認した。

内訳は、屋根瓦の損傷、落下等が67件、塀の倒壊4件、大きな道路の亀裂と陥没が1件、その他、蔵の壁の崩壊、灯ろうの倒壊、電柱の傾斜などが17件である。

人的被害は、倒れたテレビで負傷した方が1人、病院へ運ばれた。

Q 市民生活への影響は。また、市政への影響は。

A 3月14日から実施されている計画停電は、市民生活への影

響が大きいと考える。

市の公共施設は、開館時間の短縮や休館を考える。また、さまざまなイベントの開催、予算の執行や職員の配置、学校や保育所の給食にも影響を及ぼすと考える。

Q 今回の震災を経験しての課題は。

A 携帯電話は通じなかったがインターネットは利用できたことから、通信や情報交換の方法に関して研究が必要である。

普段から、自助、共助、公助を申しあげているが、家具の転倒防止などの自助の部分の啓発活動の必要性を痛感。また、自主防災組織や自治会など地域での支え合いである共助の部分をしっかりやっていかなくてはならない。

いろいろな立場、心情、地域、それぞれ違いはあるが、そうしたものを越えて、すべての人、団体、組織が力を結集して、この大変な事態に当たらなければと、強く感じ、また決意をした。

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、東北地方を中心に大きな被害が発生しました。地震と津波の犠牲になられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

3月定例会報告	2
予算特集	4
補正予算	6
◆一般会計・特別会計	
条例	7
基本計画	8
市の考えを問う 一般質問	9